



補助金やセミナー、商談会などの情報が

販路開拓への弱点を補い 必要な方向性を示してくれるので、 次なるアクションにつながっています。

話題のヒット商品を創作

大正7年の創業以来、受け継がれた製法を一途に守り、本練りわらび餅をはじめ、手作りの京菓子にこだわり続ける笹屋昌園。そんななか、現社長、中西章斗さんと先代の父・嘉一さんの試行錯誤の末に生み出されたのが、手作業で練り上げる本わらび餅「極み」だった。とろける食感が話題をよび、発売から5年の間に大手通販サイトのわらび餅ランキングで1位の常連に。マスコミにも何度も取り上げられ、会社を代表



洛西支部経営支援員
坂口 暁夫

株式会社笹屋昌園
中西 章斗 氏

株式会社笹屋昌園

代表者 / 中西 章斗
住 所 / 京都市右京区谷口園町3-11
TEL / 075-461-0338
URL / <http://sasayasyoen.jp>
事業内容 / 京菓子製造販売

新たな視点と情報力を糧に

する商品に成長した。全国の百貨店から引き合いも殺到し、職人としての自分を大切にしている中西さんは、経営者としての責務にも追われつつ東奔西走の奮戦を続ける。

店舗がある龍安寺参道商店街は、活性化への取り組みの真っ最中。同商店街を担当する坂口支援員と面識ができたのも、そんな活動さなかの平成25年4月だった。「物腰がやわらかく、相談しやすい雰囲気」を感じた中西さんは、

ごく自然に経営相談することに。以来、補助金や商談会、セミナーなどタイムリーな情報提供を受け、積極的に活用している。本所が今年2月に東京で開催する「知恵ビジネスメッセ2015」への出展も決まった。「弊社はなにもぶんど人数体制なので、情報収集力に欠けること、販路開拓の力が弱いことがネック。坂口さんからいただく情報には我々にはない新鮮な視点があり、その気づきが必要なアクションへのきっかけになることが多いんです」と謙虚に語る。

海外展開にも意欲

昨年12月には、得意先がシンガポールで開催した物産展に参加。初めての海外展開だったが、期待を上回る反響に大きな手応えを得た。「商品だけを送り込むのではなく、その場でつくる食品は、これまでにない画期的なもの。ビジネスチャンスを感じました。その時機が来たら、どうかよろしくお願いします」という言葉に「本所では、アジアビジネスに関する相談デスクのほか、定期的にセミナーを開催しています。マスコミに情報を提供される際には、プレスリリースの相談もおまかせください」と坂口支援員が頼もしくうなずいた。

支援先に合わせて最適のサポートを追求。

事業の規模や状況、社長のお考えなど、事業所によって私どもに求められる役割も変わります。どのようなかたちでの支援が望ましいか考え、柔軟なアプローチを実践するようにしています。章斗さんはお若いながらも長期的なビジョンを

お持ちで、優秀なスタッフやブレンを抱えておられますので、こちらは補助金や商談会をはじめとする情報の提供を第一に考えています。今後も私たちの支援が事業の発展の一助になればと願っています。

担当支援員



私が担当いたしました /

京都商工会議所
中小企業経営支援センター
洛西支部 経営支援員
坂口 暁夫